

# アガリスクエンターテイメント

黄金のコメディフェスティバル2015

グランプリ作品

## 七人の語らい(ワイフ・ゴーズ・オン)

作 富坂友



台本 七人の語らい(ワイフ・ゴーズ・オン)

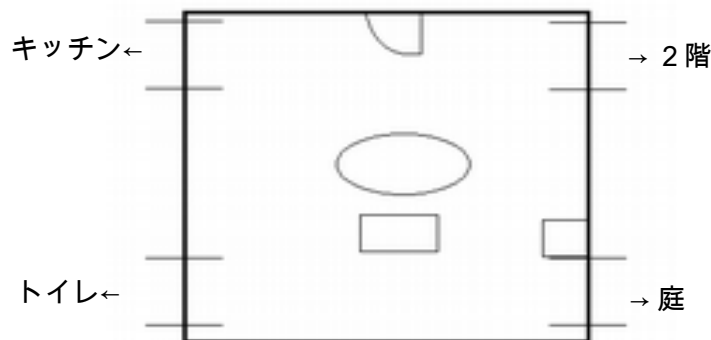
※本作は、この『ワイフ・ゴーズ・オン』という作品を上演しながら、七人の男女がそれに対してツッコんだり、批評したりする演目です。

※この台本を稽古しながら、役者個々人が気になった部分を突っ込んでいくことで、外側『七人の語らい』部分を作ります。

【登場人物】

- デイヴ      デイヴィッド＝スミス。ロンドン在住、水道会社勤務の平凡な男。しかし、メアリーとバーバラという二人の妻をもち、秘密裏に二重生活を送っている。
- メアリー      メアリー＝スミス。デイヴィッドの妻。地元のテニスサークルでバーバラと出会い、事情を知らずに夫の話で意気投合し友人に。両夫婦でテニスをしようとバーバラ夫婦を家に招く。
- バーバラ      バーバラ＝スミス。デイヴィッドの妻。地元のテニスサークルでメアリーと出会い、事情を知らずに夫の話で意気投合し友人に。両夫婦でテニスをしようとメアリーの家を訪問する。
- ジョン      ジョン＝アフレック。デイヴィットの友人で世界を旅してまわる自由人。ここ最近ではデイヴィットとメアリーの家の2階を間借りして一緒に暮らしている。
- チャン      チャン＝ロイ。デイヴィットとバーバラの家の近所に住む中国人。学生時代からバーバラの友人で、ずっと好意を抱いているがバーバラには相手にされていない。
- ゴールド～      アルフレッド＝ゴールドマン。メアリーの父で陸軍少佐。妻を亡くし、男手ひとつでメアリーを育ててきた。デイヴィットをはじめ他人には厳しいがメアリーには甘い。
- ビリー      ビリー＝ワージントン。デイヴィッドとメアリーの家の近所に住む老人。近所を徘徊し、ボケているのかふざけているのか不明な態度で周囲を困らせている。

【舞台の間取り】



■----- S E 「開演ブザー」

■----- 客電が落ちて、客席花道を降りてくるデイヴ。

デイヴ 皆様、「シチュエーションコメディ」という演劇を知っていますか？読んで字のごとく「シチュエーション」の「コメディ」つまりは巻き起こった状況によって観客を笑わせよう、という、そういったコメディです。

デイヴ 出演者のギャグやおかしな言動で笑いを取るのではなく、登場人物の自然な感情や真剣な言動が、その「状況」によっておかしく映る、というコメディ。つまり「真面目に演じれば演じるほど面白いコメディ」と言えるかもしれません。

デイヴ そんなシチュエーションコメディのうち、本日皆様にご覧頂くのはこちら。英国の喜劇作家、ゲイ＝ルーニー氏の傑作シチュエーションコメディ『ワイフ・ゴーズ・オン』。

デイヴ 一人の男に、二つの家庭。そしてその二人の妻同士が鉢合わせするとき、男はどうなってしまうのか…！？

----- 【BGM「カルメン前」】

デイヴ 黄金のコメディフェスティバル、パーチーム、後攻。アガリスクエンターテイメント『ワイフ・ゴーズ・オン』最後までごゆっくりお楽しみくださいませ。

----- 舞台はロンドンの住宅街にある一軒家。大きくはないが小奇麗な部屋。部屋の奥に玄関、下手奥にトイレとバスルーム、下手手前にキッチン、上手奥に2階への階段、上手手前にテニスコートのある庭へとつながっている。部屋の中央にはソファとコーヒーテーブル。上手側の壁に電話。

----- バーバラとデイヴが電話をしている。

バーバラ ええ？このあいだ言ったじゃない。「お友達のお家に一緒に行きましょう」って

デイヴ すまない、バーバラ。僕が予定を間違えていたようで、今日はどうしても仕事で抜けられないんだ。

バーバラ そんな。向こうもご夫婦で待ってるみたいだし「お二人でどうぞ」って言われてるのよ？

デイヴ 本当に申し訳ない。今度必ず埋め合わせをするから。

バーバラ 全く…。それにしても、こんな休みの日にも仕事なのね。

デイヴ いやあ、いつも悪いと思ってるけど、土日の片方はこっちに出勤しないといけないから…。

バーバラ まあお仕事なら仕方がないけれど…

デイヴ いつも迷惑かけるね、バーバラ。愛してるよ。

バーバラ なに言ってるのよ。じゃあ、お仕事ががんばってね。

デイヴ うん、ありがとう。

----- 電話を終えると、デイヴィットがいたのはどこかの家。ソファで寝ていると、メアリーが入ってくる。

メアリー あなた？

デイヴ (寝ていて気づかない)

メアリー ねえ、あなたったら！

デイヴ (寝ていて気づかない)  
メアリー デイヴィット=スミス！！  
デイヴ ！！  
メアリー あなた何ゴロゴロしてるのよ。  
デイヴ なんだよ一体。  
メアリー このあとお客様が来るんだから、そんなところで寝てないで。  
デイヴ お客様？  
メアリー あら、もう信じられない。このあいだからずっと言ってたでしょう？今日はお友達がウチに遊びに来るって。  
デイヴ ああ…そうだった？  
メアリー もう。しっかりしてよね？  
デイヴ じゃあ僕は退散しますよ。  
メアリー 何言ってるのデイヴィット。あなたも参加するのよ？  
デイヴ ええ？  
メアリー お互いの夫婦で、ダブルスで試合をするって言ったじゃない。  
デイヴ ダブルス？  
メアリー テニスよ。はい、これ。あなたのラケット。  
デイヴ ああ。  
メアリー グリップのところがダメになってたから、ちょっと私テープ買ってくるわね。それまでに着替えと支度済ませちゃってね。  
デイヴ わかったわかった。  
-----ジョンが二階から降りてくる。  
ジョン おはようデイヴィット、メアリー！  
メアリー おはようジョン。よく眠れた？  
ジョン ええ、ぐっすり。とても快適に過ごせたよ。  
メアリー それはよかったわ。  
ジョン ところでメアリー、僕は昨日新しいマジックを発明したんだよ。ここはひとつ、見ていかないかい？  
メアリー そうね、遠慮しておくわ  
ジョン ああ、そうかい？  
メアリー じゃあちょっと行ってくるわね。デイヴィット、よろしくね。  
デイヴ はーい。  
-----メアリーが家の外にはける。  
ジョン いやあ、にしてもイギリスのベッドの固さはとんでもないね。  
デイヴ 居候の分際で贅沢を言いやがって。  
ジョン それはそうとデイヴィット、新しいマジックを見てみないかい？  
デイヴ ああ、今は遠慮しておくよ。  
ジョン OK、じゃあここを見て。  
-----「指が切り離された」のマジックとか。  
デイヴ …。  
ジョン どうだい？驚いたかい？  
デイヴ ああ驚いたよ。それをマジックだと言い張れる君に。

ジョン       ありがとう！あと僕もそろそろこういう大掛かりなマジックを試してみよう  
                  と  
                  思ってね  
-----ジョンが大きな箱を出してきて  
ジョン       ほら、よくあるだろ？人が入った箱に剣を刺していく、っていうやつさ。  
-----ジョンが箱の中に入り、  
ジョン       この家の包丁か何かで刺してみて！  
デイヴ       はいはい  
ジョン       刺したかい？  
デイヴ       ああ、刺した刺した。  
ジョン       ほーら！僕はまだピンピンしてるぜ？どうだい？すごいだろ？  
デイヴ       ああ、すごいすごい  
-----再び寝ようとするデイヴ。ドアがノックされる。  
デイヴ       はいはいはい…  
-----デイヴがドアを開けるとビリーが立っている。  
ビリー       あんたら！なに騒いどるんじゃ！空襲が来るぞ！  
デイヴ       …は？  
ビリー       ドイツ軍に見つかるぞ！急いで隠れるのじゃ！  
デイヴ       あの…じいさん？  
ビリー       空襲警報発令！  
デイヴ       ああわかったわかった、空襲だ空襲だ。  
-----デイヴがビリーを追い出す。  
ジョン       今の誰？  
デイヴ       ただのボケたじいさんだよ  
ジョン       なんだ、じゃあデイヴィット、次のマジックなんだけど  
デイヴ       ああ、うん、それはすごい…  
-----ジョンを適当にあしらってまた寝ようとするデイヴィット。ノックの音。  
デイヴ       何だよしつこい爺さんだな…  
-----玄関を開けたらバーバラとチャン。驚くデイヴィット。  
デイヴ       …！  
バーバラ     あら！デイヴィット！  
デイヴ       …バーバラ！？  
バーバラ     あなたも来られたのね！  
デイヴ       えっ！？あ、いや…え、なんで君がここに？  
バーバラ     何言ってるのよ。さっき電話で散々言ったでしょ？友達のところでテニスの  
                  試合をするって。  
デイヴ       えっ…ちょっとまった…！友達って…君だったのか！？  
バーバラ     は？  
デイヴ       友達夫婦って…君と僕だったのか…！？  
バーバラ     何わけわからないこと言ってるのよ。  
デイヴ       あっ、いや、その…えーっと…  
バーバラ     それにしても、あなたも来られるようになったのね。  
デイヴ       えっ…あっ…えーと…うん。

バーバラ もう、それならそうと早く言ってよ。代わりに友達に無理言って来てもらっちゃったじゃないの。

デイヴ 友達？

バーバラ ごめんね？チャン。

チャン 大丈夫。全然問題ナイ。

バーバラ あなたも知ってるでしょ？チャン。

デイヴ ああ、いつもバーバラが世話になってるね

チャン …。

—————デイヴがチャンに握手しようと差し出すがチャンはニコニコしたまま無視する。

デイヴ …。

バーバラ で、あれ？メアリーさんは？

デイヴ ああ、なんか、さっきどっかに…

バーバラ じゃあ、デイヴィットさんは？

デイヴ ！？デイヴィットさん…！？え…？

バーバラ あら、あなたじゃなくて。このおうちの、デイヴィットさん。

デイヴ ！？

バーバラ メアリーのご主人の、デイヴィットさん。

デイヴ …？

バーバラ あら、言ってなかったかしら？メアリーのご主人も「デイヴィット」って言うのよ

デイヴ へー…そうなんだ…

バーバラ お互いの旦那の話になった時、びっくりしちゃった。だって、どっちの夫もデイヴィット＝スミスなんだもの。

デイヴ ま、デイヴィットもスミスもよくある名前だからねえ…

バーバラ おまけに年も一緒に誕生日も一緒に、家の中でよくやる癖まで一緒なんだから、もう笑っちゃって。

デイヴ 奇跡的な確率だねえ…

バーバラ それですぐ仲良くなったのよ。

デイヴ 「仲良く」…ねえ…？

バーバラ で、お二人ともいらっしゃらないの？

デイヴ うん…メアリーさんも、そのご主人も、どっちも今はいない…

バーバラ あら、そう。じゃあ今のうちにテニスの荷物置いてきちゃうわね。お庭は…こっちね？

チャン 私も一緒に行くよー

—————バーバラとチャンが庭の方へはける。

デイヴ やばいことになった…！

—————ジョンが出てきて

ジョン 今の誰？

デイヴ なんてあいつがこんなところにいるんだ…！

ジョン どういう関係？

デイヴ まさか友達ってのが…バーバラだったなんて…！

ジョン      なあ、デイヴィット！  
デイヴ      なんてこった…！  
ジョン      今の人、知り合い？  
デイヴ      …どころじゃない。  
ジョン      友達？  
デイヴ      でもない  
ジョン      兄弟？  
デイヴ      で済めばどんなに良かったか  
ジョン      （気づいて）まさか…愛人！？  
デイヴ      愛人なわけないだろ！  
ジョン      じゃあ誰！  
デイヴ      妻だ。  
ジョン      ああ…って妻！？  
デイヴ      ああ  
ジョン      え、その、ツマってというのは…  
デイヴ      奥さん。  
ジョン      奥さん！？  
デイヴ      （頷いて）ワイフ。  
ジョン      ワイフ…！ちょっと待った待った！え、だって、お前の奥さんは…メアリー  
            だろ？  
デイヴ      そうだよ。  
ジョン      じゃ彼女は…？  
デイヴ      妻だ  
ジョン      わけがわからない  
デイヴ      両方奥さんなんだ。  
ジョン      は？  
デイヴ      二人と結婚してるんだ…！  
ジョン      どういことだ…！  
デイヴ      なんでこうなってしまったのか僕にもわからないんだよ…  
ジョン      このこと、メアリーは…  
デイヴ      知ってるわけないだろ！  
ジョン      ってことはもう片方も…  
デイヴ      当たり前だろ。あのな、我が国じゃ一夫多妻は認められてないんだぞ？  
ジョン      こっちのセリフだよ！  
デイヴ      …どうしよう！？  
ジョン      知らないよ！自分の撒いた種だろう？  
—————バーバラとチャンが庭から戻ってくる。  
バーバラ    お待たせ、デイヴィット。メアリーさんは？（ジョンに気づき）あら、そち  
            らは…  
デイヴ      ああ、えっと彼は…  
バーバラ    メアリーさんのご主人？  
ジョン      ああ、いや、僕は

デイヴ …そう、メアリーさんのご主人！  
ジョン ！  
デイヴ デイヴィット＝スミスさん！  
ジョン ！！  
バーバラ あら、どうもはじめまして。私はこっちのデイヴィットの妻の、バーバラ＝スミスと申します。  
デイヴ (白々しく) 家内です。  
ジョン …！  
バーバラ 奥様にはいつもお世話になっております。  
—————デイヴを睨むジョン。デイヴはジョンに話を合わせるように小突く。  
ジョン …こちらこそ妻がお世話になっておりますー  
バーバラ それで、奥様は？  
ジョン …え？  
デイヴ 奥様はどちらですか？デイヴィット＝スミスさん？  
ジョン えっと…外ですかね  
バーバラ あら、じゃあちょっと外みてきますね。  
チャン ワタシも一緒にいくよ  
デイヴ じゃ、行ってらっしゃーい  
—————バーバラがはける  
ジョン なにしてくれてんだよ！  
デイヴ しょうがなかったんだよ！  
ジョン 俺が！？メアリーの？夫！？  
デイヴ 今だけそういうことにしといてくれよ！「デイヴィット」  
ジョン すぐにバレるに決まってるんだろ！  
デイヴ 大丈夫だよ！だっていまバーバラ少しも疑ってなかっただろ？  
ジョン じゃあメアリーの方はどうするんだよ！  
デイヴ そりゃメアリーの前で夫のフリしちゃダメだよ  
ジョン だからそこをどうするんだって言ってんだよ！今まさにあの二人は会おうとしてるんだぞ！？  
デイヴ だから、まあ、メアリーには怪しまれない程度に、バーバラの前でメアリーの夫「デイヴィット」のフリをする…ってのが君のミッションだ。  
ジョン 付き合いきれない。  
—————ジョンが2階に引っ込もうとする。  
デイヴ ちょっと待ってくれ…！もしメアリーにこのことがバレてみる！？僕はこの家を追われるだろうし、そしたら僕の友人である君だってここには住めなくなるんだぞ！  
ジョン …ああもう！しょうがない！  
デイヴ よし！  
ジョン 今日だけだからな？  
デイヴ ありがとう！  
ジョン で、どうすりゃいい？



デイヴ とにかくだ、こうなってしまったのは仕方がない。ただ、メアリーとバーバラが顔を合わせたら一巻の終わりだ！なんとか二人が会わないようにするしかない！

ジョン じゃあ今のうちにバーバラを帰らせよう！

デイヴ わかった！

ジョン メアリーが戻ってくる前に！

デイヴ うん！

-----デイヴが出ていこうとしたらメアリーが帰ってくる。

メアリー ただいまー

デ・ジ …！！

メアリー バーバラさん、まだいらしてないわよね？

-----バーバラの荷物を隠す自デイヴとジョン。

デイヴ えっ、ああ、うん、まだ来てない

メアリー よかった、間に合ったわ。じゃあコレ巻いちゃうわよ。早くしないとバーバラさん来ちゃうでしょ？

デイヴ ああ、本当に、バーバラが来たら大変だ…

-----テニスラケットのグリップを巻き始めるメアリー。バーバラが来ないか気にするデイヴとジョン。チャンが外から入ってくる。

チャン すいませーんトイレかりたい…

デ・ジ ！！

メアリー あら、えっと…(どなた)

チャン アイヤー！あなたはもしかして…

ジョン トイレはそっち！

デイヴ 急いだ方がいいよ～！

チャン (キッと睨みつける)

-----チャンがトイレにはける。

メアリー あれ、今の方は…？

デイヴ ああ。彼？彼は…

メアリー …バーバラさんのご主人！？

デイヴ …そう！バーバラさんのご主人。

ジョン ！！

メアリー あら、そうだったの？

デイヴ そうだよ。もう一人の、デイヴィット＝スミスさん。なあ？

ジョン うん…そうみたい…

メアリー じゃあバーバラさん達もういらっしやってたの？

デイヴ …そういうことになるねえ

メアリー なんで教えてくれなかったのよ！

デイヴ すまんすまん

メアリー それで、バーバラさんは今どちらに？

デイヴ ああ…なんか…今忘れ物取りにどっかいった！

メアリー あらそう。

デイヴ だから君がバーバラの居場所を気にする必要は全くない。探さない。

メアリー わかったわ。じゃあやっぱり今のうちにコレを巻き直しちゃいましょう。  
-----メアリーがソファに座ってグリップを巻き直し始める。バーバラが来る。  
バーバラ やっぱりいなかったわよ？  
デ・ジ !!  
-----デイヴはソファに座っているメアリーの頭をテニスのラケット（カバーがかかっている）で遮って、後ろ（入口）にいるバーバラから隠す。ジョンはバーバラが中に入ってこないよう防いぎながら  
ジョン いや、まだ外にいるよ！行った方がいい！  
デイヴ この巻き方ちょっと教えてくれない？  
メ・バ え？どこ  
ジョン ほらあそこだよ！隠れてるんだよ！  
バーバラ 何で隠れてるのよ！  
-----バーバラが再び外へ。ジョンが扉を閉める。  
メアリー っていうか今、誰かいなかった？  
デイヴ 誰か…？  
メアリー 女の人の声が聞こえたじゃないの！  
デイヴ あれは…ジョンが腹話術してたんだよ  
ジョン !!  
メアリー 腹話術？  
デイヴ うん、彼は最近腹話術も出来て、一人で色々な人の声出せるんだよ。  
メアリー あら、ずいぶん芸達者なのね  
ジョン …そうなんだよ～  
-----デイヴに理不尽に振られて無理矢理腹話術を披露するジョン。  
メアリー あらすごい  
-----バーバラが再び来る。  
バーバラ やっぱりいないですってば  
デ・ジ !!  
デイヴ 危ない！  
-----デイヴがラケットで素振りをして、メアリーに避けさせることで屈ませる。  
後ろ（入口）にいるバーバラからメアリーの姿を隠す。ジョンがバーバラの前に立って部屋に入ってくるのを防ぎ、  
メアリー ちょっと何するのよいきなり！  
デイヴ 突然素振りがしたくなって…  
-----避けたメアリーが上体を起こそうとしたところで  
デイヴ バックハンド！…フォアハンド！…バックハンド…  
-----バックハンドでもう一度素振りをし、メアリーに避けさせることで屈ませる  
ジョン あ！メアリーが野良犬に襲われている！  
バーバラ はあ！？  
ジョン メアリー-----！！  
-----絶叫しつつドアを閉めるジョン。  
デイヴ ふう。  
-----デイヴをビンタして起き上がるメアリー。

メアリー 危ないでしょ！いきなりこんなところで素振りしないでよ

デイヴ ごめんごめん、はやる気持ちを抑えきれなくて…

メアリー なんだか変よ？デイヴィット。

■—————ホイッスル。ビリーとゴールドが出てきて。

ビリー ストップストップ！

皆 ？

ビリー 一旦止めまーす！

—————ビリーが袖からホワイトボードを引っ張りながら出てくる。

皆 ！？

デイヴ え、なにそれなにそれ！

ビリー …いやいやいや。今のは嘘でしょ。

デイヴ 嘘…？

ビリー だって、これ、どう考えたって気付いてるでしょ、メアリーは。

デイヴ え、そこ言っちゃう！？

ビリー そりゃ言いますよ、だって「登場人物の自然な感情や真剣な言動」がシチュエーションコメディ」なんですよね？

デイヴ …そうだよ？

ビリー え、いま自然な感情でした？真剣な言動でした？

メアリー …正直、メアリー目線で言うと、ここは厳しいですね

デイヴ えええ？

メアリー メアリー的にこれは気づいちゃうんで

デイヴ でもこれはそういうので隠すって言うネタだから…

メアリー メアリーの感情としては、あのままじゃ出来ません。

デイヴ はあ？

バーバラ ちなみにバーバラからもメアリーのことは見えてます。

デイヴ え、じゃあどうすればいいの？

バーバラ これなら見えないだろうな、っていう説得力のある隠し方があればいいんですけど…

ビリー 無いよ

デイヴ 無いとか言うなよ！

ビリー だって、この距離で「姿を隠して誤魔化す」のは無理でしょう

チャン っつか、そもそも、隠したり誤魔化したりって、大丈夫ですかね、センス的に。

デイヴ いやこれは必死に隠してるけど傍から見れば「見えてんじゃねえ？」ていうツッコミどころが面白いっていうかさ…いいんだよ！コメディなんだから！

ビリー はい、皆さん、聞きましたか？「コメディなんだから！」表向きは「ギャグやおかしな言動で笑わせるのではなく」「真面目に演じれば演じるほど面白い」とか言っておきながら、「コメディなんだから」というところに甘える！ここにシチュエーションコメディの欺瞞があります！

デイヴ いや、いいじゃない、面白ければ…

ビリー だったら「真面目に演じれば演じるほど～」みたいな看板は下ろすべきですよ！

ジョン おれも面白ければ無理があってもいいと思うんだけど、  
ビリー いや、だから、それだと最初に言った「真剣な言動が〜」っていう定義と矛盾するでしょ？ダブルスタンダードでしょ？  
ジョン うん、だから、俺はそもそも「真剣な言動がなんちゃら」ってのがいらな  
いっていうか  
デイヴ え、そう来る？  
ジョン ギャグとかでウケるんならそれでいいと思うんですけど。だってコメディな  
んだから。  
デイヴ いや、それはそれで逆に違うんだよな…  
ジョン 俺は個人的にはもうちょいギャグとか挟んでいきたい感じですね。ぶっちゃ  
け序盤とか笑いどころ少ないじゃないですか。  
デイヴ いや、まあ、そうだけど、あれは状況を作る為の時間だから、どうしたって  
笑いどころじゃない時間も必要って言うか…  
ジョン でもボケの数は多い方が良くないですか。  
デイヴ いや、だから「ボケ」とかそういう笑いじゃなくって、「自然な感情」であ  
り「状況」が…  
メアリー いや、あれは「自然な感情」ではないですね。(自分的に)繋がらないんで。  
ビリー 「ボケとかそういう笑いじゃない」って仰いましたけど、さっき「ツッコミ  
どころ」がなんとかって言ってましたよね？ってことは状況がおかしいって  
のも広義の「ボケ」と言えるわけであって…  
デイヴ もう…じゃあわかったよ！ラケットで隠さなきゃいいのね？  
メアリー いやラケットっていうか  
デイヴ 実際見えなさそうならいいのね？  
メアリー まあ、そうですね  
デイヴ じゃあもうこれにしよう、ね？…箱！箱を使えばいいんだよ。ジョンがこの  
箱を持って後ろに立ってます！だからバーバラからはメアリーの姿は実際  
に見えません！これでどう！？  
バーバラ あー…  
ビリー あとは何故ジョンがこのタイミング偶然箱を持っていたのか？という点です  
ね。  
デイヴ だっ…！メアリーに「片付けろ」とか言われるんだよ！  
ビリー …片付けるなら、このままこっち(上手)に持っていくんじゃないですか？  
ジョン 確かに。こっちから持って出て来た。  
デイヴ 細げえな…！  
ゴールド 外に捨てに行けばいいんじゃないっすか？  
デイヴ ああ、うん、そう、メアリーに「片付けて」って言われて、外に捨てに行く。  
ビリー なんで外に捨てに行くんですか？  
ゴールド 大きいからじゃないっすか？  
デイヴ うん、そう！それで行こう！  
ゴールド あと、早く進めたほうがいいんじゃないっすか？  
デイヴ ああ、そうね、45分で終わらなくなっちゃうからね  
ゴールド おれまだ出てきてもいないんで。

デイヴ …そういえばそうだったね。

デイヴ じゃあ、ジョンがメアリーに言われて箱を片付けてる、メアリーはソファでグリップをまいている、そこにバーバラが来る！

メアリー 私はジョンに「それ片付けちゃって」って言えばいいんですよね？

デイヴ そう

ジョン じゃあ俺は「この箱を運ぼう」って言いますね？

ビリー (デイヴに聞く) 今のはギャグだからダメじゃないですか？

ジョン ギャグじゃないですー駄洒落ですー

チャン じゃあ余計ダメでしょ。ダサすぎるでしょ。

デイヴ わかったわかった、だから、ジョンが、ジョンという登場人物がつつい言ってしまった「ユーモア」！これでどう？

ビリー …物は言いようですね。

デイヴ とりあえずそれでいこ？もう12時までには終わんなくなっちゃうから！このままじゃ最後まで行かないし、下手すると彼出てくる前に45分経っちゃうから！

皆 まあ…

デイヴ じゃあ行きます！もっかいバーバラ来て！

■—————デイヴが再開させる。

メアリー じゃあやっぱり今のうちにコレを巻き直しちゃいましょう。あとジョン！その箱片付けて！

—————テニスラケットのグリップを巻き始めるメアリー。バーバラが来ないか気にするデイヴ。箱を運ぶジョン

ジョン この箱を、運ぼう運ぼう箱BOX…！

—————デイヴ舌打ち。バーバラが来る。

バーバラ やっぱりいなかったわよ？

デ・ジ ！！

—————ジョンはソファに座っているメアリーの頭を運んでいる途中の箱で遮って、後ろ(入口)にいるバーバラから隠す。ジョンはバーバラが中に入ってきたように防いぎながら

ジョン いや、まだ外にいるよ！行った方がいい！

デイヴ ここの巻き方ちょっと教えてくれない？

メ・バ え？どこ

ジョン ほらあそこだよ！隠れてるんだよ！

バーバラ 何で隠れてるのよ！

—————バーバラが再び外へ。ジョンが扉を閉める。

メアリー っていうか今、誰かいなかった？

デイヴ 誰か…？

メアリー 女の人の方が聞こえたじゃないの！

デイヴ あれは…ジョンが腹話術してたんだよ

ジョン ！！

メアリー 腹話術？

デイヴ うん、彼は最近腹話術も出来て、一人で色んな人の声出せるんだよ。

メアリー あら、ずいぶん芸達者なのね  
ジョン …そうなんだよ～  
-----デイヴに理不尽に振られて無理矢理腹話術を披露する流れからの突然「ガ  
チョーン」をするジョン。不機嫌そうなデイヴ。  
メアリー あらすごい  
-----バーバラが再び来る。  
バーバラ やっぱりいないですってば  
デ・ジ !!  
デイヴ 危ない!  
-----デイヴが箱をかぶせて後ろ(入口)にいるバーバラからメアリーの姿を隠す。  
ジョンがバーバラの前に立って部屋に入ってくるのを防ぎ、  
ジョン ああ!メアリーが野良犬に襲われている!  
バーバラ はあ!?  
ジョン メアリー-----!!  
-----絶叫しつつドアを閉めるジョン。歌い終わるデイヴ。  
デイヴ ふう。  
-----箱を跳ね除けるメアリー。  
メアリー なにするのよいきなり!  
デイヴ ごめんごめん、はやる気持ちを抑えきれなくて…  
メアリー なんだか変よ?デイヴィット。  
-----またしても玄関ドアが開く。  
デ・ジ !!  
デイヴ うわああー!  
-----デイヴがソファに座っているメアリーを押し倒して、入り口にいるバーバラ  
から隠す。ジョンがバーバラの前に立って部屋に入ってくるのを防ぐ。  
-----が、玄関にいたのはピリーだった。  
ジョン …って、なんだよじいさんかよ…!  
ピリー なんだとはなんじゃ!さっきからうるさいんじゃ!  
-----ジョンが目の前をふさがなかったせいで入ってくるピリー。メアリーを押し  
倒しているデイヴを目撃して  
ピリー なにやとるんじゃ!えらいこっちゃえらいこっちゃ!  
-----ピリーは驚いて退散する。  
メアリー ちょっと!何するのよいきなり!  
-----メアリーがデイヴにビンタしてはねのける。  
デイヴ 痛っ…!はやる気持ちを抑えきれなくて…  
メアリー 何にはやっているの!信じられない!  
-----チャンがトイレから出てくる。  
チャン アイヤー!トイレお借りしましたー  
メアリー あら、どうも  
チャン アイヤ、アイヤー!先ほどはすいません、ご挨拶もする前に  
メアリー いーえー。  
チャン はじめまして。ワタシ、チャンといます。

デ・ジ       ！！  
メアリー     え、「チャン」…？  
チャン       はい。  
メアリー     え…デイ(ヴィット)  
デイヴ       「チャン」と…「ちゃんと」いいますと…彼は、バーバラさんのご主人  
ジョン       ！！  
チャン       ご主人？  
デイヴ       ！！  
ジョン       …ご執心！バーバラさんにご執心な人！  
デイヴ       そうバーバラさんの…ことを…一番大事に思っている人。  
チャン       (デイヴィットに) 負ける気はないよ。  
メアリー     あら素敵、私は…

■————チャンが笛を吹いて止める。皆がぞろぞろ出てくる。

デイヴ       なになに？また？  
チャン       …これはヤバいでしょ。このチャンの中国人設定。  
バーバラ     そう！それあたしも思ってたんですよ。  
デイヴ       え、待った待った、そこから言い出す？  
チャン       この片言ネタとか、ヤバいでしょ。もう 21 世紀ですよ？  
デイヴ       それはだって、チャンはそういうキャラなわけだから…  
ビリー       確かに、片言で喋って笑いを取るっていうのは、冒頭で言ってた「おかしな言動をするのではなく～」のところに抵触する恐れがありますね  
デイヴ       え、そうかなあ？  
ビリー       だって状況じゃなくて片言でしゃべる行為そのもので笑わせよう、ってことですよ？  
デイヴ       違う違う、チャンは、真面目に喋ってるの。みんなと同じように真剣にこの状況に向き合ってるんだけど、言葉が片言になっちゃって、ハタから見るとそれが滑稽だ、ってことなわけだから。  
ビリー       ふむ  
デイヴ       これはチャン個人じゃなくて、状況で笑わせてるってことになるでしょ。  
ビリー       なるほど  
バーバラ     …差別ですか。  
デイヴ       はいいいい…！？  
バーバラ     「真面目に喋ってるのにハタから見ると滑稽」「だから笑う」って、それは差別ですよ？  
デイヴ       そういうのはいいじゃない、コメディなんだから  
バーバラ     コメディならいいんですか？笑えればなんでもいいんですか？  
ジョン       いや、笑えればなんでもいいでしょ。  
バーバラ     は？  
ジョン       中国人キャラでちょっとでも笑う人がいれば、もうけもんでしょ。  
バーバラ     え、それは中国人を笑ってるってことですか？  
ジョン       中国人でやっチャイナっつって。

チャン いや、俺は、差別うんぬんってより、単純に片言ネタは面白いのか、っていう

ジョン え、じゃあボビーは？

チャン はい？

ジョン ボビーが片言で喋るの面白いでしょ。

チャン いや、ボビーは面白いけど、チャンは面白くないでしょ

ジョン いやボビーが面白いならチャンだって面白いでしょ

チャン いやボビーが面白いのは「お前実は流暢に喋れるだろ」っていうツッコミがあっただけだから。

ジョン いや、ボビーは片言だけで十分面白いよ

チャン いやボビーが片言だけじゃ面白くないよ

ジョン ふざけんなよボビーは片言だけで…（ボビー風になっている）

チャン なんでボビーに寄せてきてんだよ

デイヴ ボビーの話は良いんだよ…！！ボビー長えんだよ！

ジョン （ボビーで）ゴメン

バーバラ とにかく、中国人の片言を笑う、っていうのはあたしは受け入れられないですね。

ジョン じゃあチャンも黒人にしちゃう？

バーバラ だからそういうことじゃないんですよ！

チャン おれのこの見た目で黒人設定は無理があるでしょ

ジョン 黒く塗りゃいけるんじゃない？

バーバラ だからそういう…！黒く塗って「黒人です〜」みたいなそういう思想が差別的だって言ってるんですよ！

ジョン （ボビーで）指ヲ指スンジャネエヨ

デイヴ ああもうどうすんだよこれ…

ゴールド とりあえず先進みませんか？おれ未だに出てきてないんですけど。

ビリー では論点を整理しましょう。現状、チャンのキャラクターについて出てきているのは二点。「片言で喋るのか、または、流暢に喋るのか」これが一点目。そして「中国人にするか、黒人にするか」これが二点目です。

デイヴ いや、これ二点目はいらないんじゃないか？

-----チャンが挙手。

チャン はい。じゃあ、「チャンは流暢に喋る」という変更を希望します。

ビリー 決の要請が出ました。「以降、チャンは片言ではなく流暢に喋る」この提案について、賛成・反対で決を採ろうと思います。

デイヴ 決…？

デイヴ ではまず、賛成の方…？

-----チャン、バーバラ、メアリー、ビリーの4人が挙手。ビリーは「賛成」に4票カウント。

ビリー 4票。では反対の方…？

-----デイヴとジョンが挙手。ビリーは「反対」に2票カウント

ビリー 2票。棄権の方…？

-----ゴールドが手を挙げない。



ビリー …。早く進めたい方…？  
-----ゴールドが挙手。ビリーは「棄権」に1票カウント。  
ビリー 採決の結果、「チャン、流暢に喋る法案」は賛成多数で可決されました。  
-----賛成した人たちが拍手。  
デイヴ えええ…？  
ビリー 次に、「チャンを黒人にする」法案について。賛成の方…？  
-----ジョンだけが挙手。ビリーは「賛成」に1票カウント。  
ビリー 1票。反対の方…？  
-----デイヴ、メアリー、バーバラ、チャン、ビリーが挙手。ビリーは「反対」に5票カウント。  
ビリー 5票。  
-----ゴールドが手を上げない。  
ビリー 早く進めたい人…？  
-----ゴールド挙手。浅越は「棄権」に1票カウント。  
ビリー 反対多数により、「チャンを黒人にする法案」は否決されました。  
ジョン ふざけんじゃないよ（ポビーで）  
ビリー 以降「チャンは流暢に喋る」という変更を加えて続行したいと思います。  
-----ビリーがホワイトボードを裏返し、「チャンは流暢に喋る」を書き加える。  
デイヴ えええ、これ大丈夫かなあ…？  
-----チャンがトイレから出てくる。  
チャン やっべ、すいませーん、トイレお借りしましたー  
メアリー あら、どうも  
チャン やっべやっべ、先ほどはすいません、ご挨拶もする前に  
メアリー いーえー。  
デイヴ 流暢ってそういうことじゃないと思うんだよな…  
チャン はじめまして。チャンっす。  
デ・ジ ！！  
メアリー え、「チャン」…？  
デイヴ 「チャンといいま…「す」…！？「チャンっす」！？…「チャンス！」  
紹介のチャンス！彼は、バーバラさんのご主人  
ジョン ！！  
チャン ご主人？  
デイヴ ！！  
ジョン …ご執心！バーバラさんにご執心な人！  
デイヴ そうバーバラさんの…ことを…一番大事に思っている人。  
チャン （デイヴィットに）負ける気ねえから。  
メアリー あら、素敵。私はメアリー＝スミスです。いつもバーバラさんには大変お世話になってますわ。  
チャン こちらこそー。  
メアリー で、こっちは私の夫のデイヴィット。  
-----メアリーがデイヴィットを指している。  
チャン ？

-----メアリーがデイヴィットを指しているところに入り込むジョン。  
デ・ジ よろしくー  
チャン …よろしくお願いします。  
-----バーバラが来る。  
バーバラ メアリーさんも野良犬もいなかった…あれ！  
デ・ジ ！！  
メアリー あら、バーバラ！  
バーバラ メアリー！  
メアリー ようこそいらっしゃいました。  
バーバラ ごめんね、何度か入れ違っちゃったみたいで。  
メアリー いーえー  
バーバラ ご主人とは先ほどお会いしたんですけど  
メアリー あ、私も今ご主人とご挨拶させて頂いてたところなの。  
バーバラ そうなの？  
メアリー 素敵なお主人じゃないの、デイヴィットさん。  
-----メアリーはチャンのことを指して言っている。バーバラに怪しまれないよう  
そこに入り込むデイヴ。  
バーバラ そう？そんなことないわよ  
メアリー またまたー。ウチのデイヴィットとは大違いだもの。  
バーバラ 何言ってるの。  
メアリー だってこんなにスタイルもいいし、  
バーバラ えっ…？スタイルいいですか！？ウチの夫が？  
メアリー ええ。足だってこんなに長いし  
バーバラ え、長いですか…？  
メアリー 長いわよお  
デイヴ いや、でも、ほら、スタイルなんてのは主観の問題だから。  
ジョン 人それぞれ。  
バーバラ まあねえ。(メアリーに) いや、でも健康のためにももうちょっと痩せて欲  
しいんだけどね  
メアリー え、さらに！？  
バーバラ ？  
メアリー さらに痩せるの！？  
バーバラ ええ  
メアリー ご主人が！？  
バーバラ ええ  
メアリー もう十分細いじゃないですか…  
バーバラ そんなことないわよ。学生時代はあと20kgは痩せてたわよ  
メアリー 20kg！？今より！？  
バーバラ その頃はレスリングの代表に選ばれたりもしてたわ  
メアリー レスリング…！その体で…！？  
バーバラ といっても、20kg痩せてた頃の話よ？  
メアリー うん、いや、だからこそビックリしてるのよ

バーバラ …？

チャン なんかおかしいことあります？

メアリー いや？…それにしてもご主人、随分英語がお上手ね。

■—————ピリーが止める。

デイヴ またかー！

ピリー なんですか今の会話は！こんな勘違い起こりますか？

デイヴ 勘違いの会話はシチュエーションコメディの王道でしょ？

ピリー ここまでぼやかして喋ることありますか？

デイヴ 偶然！偶然噛み合っちゃったんだよ

ピリー あと、なんで指さしてるのに気付かないんですか

デイヴ 気付いちゃったら…勘違いできないでしょ

ピリー それは「勘違いの為の勘違い」ですよ。偶然じゃないですよ？

デイヴ うるせえなあ…！

メアリー 確かに、ちょっと私も厳しかったですね

デイヴ えええ…

バーバラ うん、わざわざこっち向いたりとかしてましたからね

デイヴ いやいや

ゴールド じゃあ指ささなきゃいいんじゃないですか？

デイヴ うん、じゃあもうそれでいこう！

メアリー いやでもメアリーとしては指しちゃうんで。

デイヴ もう…！

ジョン じゃあなんか手を封じられてればいいんじゃない？

デイヴ 手を封じられ…どうということ！？

ゴールド じゃあソファ持ち上げながらしゃべりましょう。

デイヴ ソファを！？持ち上げるの？この会話しながら？

バーバラ ああ…確かに手は塞がりますよね

デイヴ なんでソファなんて持ち上げるんだよ！理由がないでしょ！

ゴールド 下になんか落とすときましょう。

ジョン あ、コンタクトとか？

バーバラ デイヴィットがコンタクトを落として、

チャン みんなが持ち上げて、

ピリー その状態で、喋る。

メアリー そ…れならいけそうです！

デイヴ それはなんだ？そっちの方がおかしくないか…？

ピリー では採決に移ります。今のシーンについて「勘違いを成立させるためにソファを持ち上げる」という法案に賛成の方…？

—————メアリー、バーバラ、ピリー、チャン、ジョンが挙手。

ピリー 6票。賛成多数により、「ソファ持ち上げ法案」は可決されました。

デイヴ もう…知らないよ？

■—————デイヴが再開させる。ピリーはホワイトボードに法案を書いている。

メアリー 素敵なお主人じゃないの、デイヴィットさん。

デイヴ あ、コンタクト落とした！

皆 え、ホントに！？  
-----ジョンとチャンがソファ、メアリーとバーバラがテーブルを持ち上げる。  
バーバラ そうですか？そんなことないわよ  
メアリー またまたー。ウチのデイヴィットとは大違いだもの。  
-----メアリーはデイヴのことを指して言っている。バーバラに怪しまれないよう  
そこに入り込むジョン。  
バーバラ 何言ってるんのよ。  
メアリー だってこんなにスタイルもいいし、  
バーバラ えっ…？スタイルいいですか！？ウチの夫が？  
メアリー ええ。足だってこんなに長いし  
バーバラ え、長いですか…？  
メアリー 長いわよお  
■-----チャンが止める。  
チャン すいません、今ソファ持ち上げてて思ったんですけど、これ、おかしくない  
いっすか？  
デイヴ うん、だから僕はおかしいって言ってたでしょ？このルールは！  
チャン いや、ルールじゃなくて。このソファ自体が。  
デイヴ うん？え？どういうこと？  
チャン いや、こういう抽象的な舞台なのに、ソファとテーブルだけ実物があるのっ  
てダサくないすか？  
デイヴ いや、でもソファとテーブルはないと困るでしょ  
チャン あと最初の一回しか使わない電話とか。マイムでいいでしょ。  
デイヴ シチュエーションコメディのセットには必須なんだよ！こういうのは！  
チャン いや、シチュエーションコメディのあるあるとかよくわかんないっすけど、  
表現としてスマートじゃないなーって。  
デイヴ だって、ソファとかが無いと、このロンドン風の部屋のイメージが湧きづら  
いじゃない  
チャン いや、逆なんですよ。抽象的な、余計な色のないもので構成したほうが、お  
客さんの中で、「自分の思うロンドンの部屋」をイメージしてもらえるん  
ですよ。  
デイヴ え、それはなに？具体的にどういうセットにするってこと？  
チャン …ボックスです。  
デイヴ ボックス？  
チャン はい「セットを全て抽象的なボックスにする法案」を提出します。  
デイヴ なんでだよ…！  
ビリー 決の要請が出ました。以上の法案に賛成の方？  
-----バーバラ、ジョン、チャン、ビリーが挙手。  
ビリー 4票。賛成多数で「舞台美術ボックス法案」は可決されました。  
デイヴ えええー  
チャン じゃあこのソファとテーブルを撤収します  
-----ソファとテーブルと電話台を片付ける。ソファとテーブルをボックスに置き  
換える。

デイヴ …この時間無駄じゃない！？ただでさえ時間無いのに変えなくて良くない？  
ジョン (ボックスを運びながら) 運ぼう運ぼう箱ボックス！  
デイヴ 君、それがやりたくて賛成したねえ！！  
チャン …！美しい  
デイヴ そうかなあ  
チャン 先行きましょう。  
■————チャンが勝手に再開させる。

メアリー それにしてもご主人、随分英語がお上手ね。  
バーバラ ?え?ご主人?ご主人っていうと…  
メアリー デイヴィットさん  
バーバラ そりゃあ、まあ…はい。  
メアリー イギリスにはいつから?  
デイヴ …。  
バーバラ え?生まれも育ちもイギリス…よねえ?  
デイヴ そうみたいですわねえ  
メアリー あらそう。そういえばジョンは確かアメリカだったかしら?  
デ・ジ !!  
バーバラ 「ジョン」?  
メアリー ねえ?ジョン?  
デ・ジ !!  
ジョン …そうだねえ…確かジョンはアメリカ出身かな?  
バーバラ 「ジョン」っていうのは  
デイヴ そんなことよりメアリー、立ち話も何だし、お茶をお持ちしたらどうだろう。  
メアリー あ、そうね。ごめんなさい。気が利かなくて。  
バーバラ ちょっと!なんであなたがそんなこと言うのよ。失礼でしょ?  
デイヴ ん?ああ!そうかな…  
メアリー ?  
バーバラ ごめんなさい、メアリー。  
メアリー いいのよ。じゃ、ごゆっくり。ご自分のお家だと思って。  
バーバラ ありがとう。  
————メアリーがはける。  
デイヴ 「ご自分のお家」ね…  
バーバラ ところで、さっきメアリーが言った「ジョン」って誰?  
デ・ジ !!  
ジョン ジョンっていうのは…  
デイヴ …確か犬ですよ?  
バーバラ 犬!?  
ジョン そうなんですよ、ウチで飼ってる犬の名前なんですよ。  
デイヴ 「犬の名前といたらジョン」みたいなとこありますからねえ?  
ジョン さっき庭でみませんでした?  
バーバラ 犬なんていたかしら?  
チャン いなかった。

ジョン …それがあるんですよ  
デイヴ 僕はさっき見せてもらったよ。  
バーバラ どんな犬？  
ジョン (↓同時に) チワワ  
デイヴ (↑同時に) セントバーナード  
バーバラ どっち！？  
デイヴ (↓同時に) チワワ  
ジョン (↑同時に) セントバーナード  
バーバラ だからどっちよ！  
デイヴ まあ、だから、チワワでもあり…  
ジョン セントバーナードでもある…  
バーバラ そんな犬いないわよ！  
デ・ジ でもいるんですよ  
バーバラ どこにいるの？その「ジョン」は  
デイヴ おーい、ジョーン！  
ジョン ジョーン！  
ジョン …どこ行っちゃったのかなあ。  
デイヴ 素早いんですよねえ。デイヴィットさん？  
ジョン つないでないから、どっかいっちゃうんですよねえ。デイヴィットさん？  
-----メアリーがお茶を入れて入ってくる。  
メアリー お待たせー。  
バーバラ あら、どうも  
メアリー あとこれ、頂き物のチョコレート、とってもおいしいのよ。  
バーバラ まあ、おいしそう！  
-----メアリーがチョコレートを出す。  
メアリー これ、ジョンの大好物なのよ、ね？  
ジョン えーっと…うん…多分…  
バーバラ えっジョンにあげてるの？  
メアリー ？  
バーバラ チョコレートを？  
メアリー ええ、  
チャン ヤッペ。  
バーバラ チョコレートあげるのはやめた方がいいわよ！？  
メアリー なんで？  
チャン ジョンにチョコはやばいっしょ。最悪死ぬでしょ。  
メアリー (ジョンに) そうなの？  
ジョン そう…かもしれないね  
バーバラ 他のものにしてあげましょう？  
メアリー どういうものがいいのかしら？  
バーバラ 骨とか。  
メアリー 骨！？おやつに！？  
バーバラ ええ、よくかじったりしてない？

メアリー　　しないと思うけど…(ジョンに) するの？  
ジョン　　…時と場合によるかな？  
メアリー　　どんな場合よ。  
バーバラ　　いつもはどんなものをあげてるの？  
メアリー　　私達夫婦と同じものだけど…  
バーバラ　　ああ…気持ちはわかるけど、それ良くないわよ？  
メアリー　　そうなの？なんで？  
バーバラ　　同じ物食べさせると、自分を主人と対等だと思っちゃうって言うか  
メアリー　　え、それ、ダメなの？  
バーバラ　　ダメよ、立場の違いはハッキリさせておかないと。  
チャン　　あと同じテーブルで食べさせるもヤバいっす。  
バーバラ　　そうそう  
メアリー　　え、じゃあどうすればいいの？  
バーバラ　　床で食べさせないと  
メアリー　　床で！？ジョンに！？(ジョンに) じゃあ…床でいい…？  
ジョン　　うん…まあ…  
メアリー　　でも床って食べ辛いのかしら…服だって汚れちゃいそうだし…  
バーバラ　　服も着せてるの？ジョンに？  
メアリー　　そりゃ着せるわよ！ま、着せるっていうか、本人が着てるっていうか  
バーバラ　　それ、本当にジョンは着たがってるのかしら…？  
メアリー　　ええっ！？  
バーバラ　　ジョンに人間の常識を当てはめちゃダメよ。  
メアリー　　人間の常識を！？なんで？だってジョンは…  
デイヴ　　バーバラ！そこまで言うなら君がジョンのおやつを買って来てさしあげたら  
どうだろう？  
バーバラ　　そうね！  
メアリー　　ちょっと！なんであなたがそんなこと言うのよ。失礼でしょ？  
デイヴ　　ん？ああ、そうかな？  
メアリー　　ごめんなさい、バーバラ。  
バーバラ　　いいのいいの。ちょっと待ってて  
チャン　　俺も一緒に行くわ。  
—————バーバラとチャンがはける。  
メアリー　　なんでお客さんにお使い行かせるのよ！  
デイヴ　　ははは  
メアリー　　もう、じゃあ私一回これ下げちゃうわね。  
—————メアリーがはける。デイヴとジョンが残って  
ジョン　　なんで犬とか言い出すんだよ！  
デイヴ　　しょうがないだろ、君はデイヴィット＝スミスじゃなきゃいけないんだか  
ら！  
—————チャイムが鳴る。  
デイヴ　　もう帰ってきた…？  
ジョン　　ああ…もう…！

—————ジョンがドアを開けると、軍服を着た大柄な男・が立っている。ゴールドマンが立っている。

ゴールド～ んん？

デイヴ …！！

ジョン どちら様…ですか…？

ゴールド 私はイギリス陸軍のゴールドマン少佐だ。…やっと出られた。貴様こそ誰だ？娘の家になんで知らない男がいる…？

デイヴ お義父さん…

ゴールド～ 君もいたのか。

—————部屋に入ってくるゴールド～。

ゴールド 何度も言うが、私はまだ君に「お義父さん」などと言われるのを許した覚えはないからな。

デイヴ すみません、Mr. ゴールドマン。

ゴールド 誰なんだ、この男は。

デイヴ ここ最近居候している、僕の友人です。

ジョン ジョンです。ジョン＝アフレックです。

ゴールド フン。

—————ジョンがデイヴィットのところに駆け寄り

ジョン 誰なんだ、このおっかない男は！

デイヴ Mr.ゴールドマン、メアリーの父親だ…

ジョン メアリーの！？お父さん！？

デイヴ ああ

ジョン もちろんバーバラとのことは…

デイヴ 知らないよ！知ってるわけないだろ！もしバレてたら今頃僕はイギリス陸軍に命を狙われているよ…！

ゴールド …デイヴィット君！この距離で聞こえてないのはムズくない！？

■—————ビリーが笛を吹いて出てくる。

ビリー でしょ？こういうところがあるんですよ！

ゴールド これ、明らかに聞こえてるでしょ！

デイヴ それはそうなんだけど

ゴールド 隣の部屋でしゃべったりしないんですか？

デイヴ 隣の部屋には…行けないじゃん！

ビリー なんですですか？

デイヴ 隣に行ったら…はげちゃうじゃん。

チャン じゃあここ使えばいいんじゃないっすか？（何も無い空間にマイムでドアを表現して）「ガチャ」

デイヴ ちょいちょいちょい！勝手に部屋を作らない！

チャン でも便利っすよ？

デイヴ この部屋は一部屋なの！シチュエーションコメディはこの部屋で起こってることを見せるものなの！

チャン でも舞台の使い方…



デイヴ ワンシチュエーション…！！とにかく、これはここで喋らないと話が進まないんだよ！だから君（ゴールドに）も聞こえない！

ゴールド わかりました…じゃあ俺ヘッドホンしときますわ。

デイヴ ヘッドホン！？なんでこの状況でヘッドホンしてるのよ！

ゴールド 音楽好きなんじゃないすか？

ビリー …しょうがないっすね

デイヴ ええええ…！

ビリー 決を採ります。

デイヴ 本気…！？

ビリー 「ゴールドマンはここでヘッドホンで音楽を聴いていたので聞こえなかった」この法案に賛成の方…？

-----デイヴ以外挙手。

ビリー 6票。賛成多数で「ヘッドホン法案」は可決しました。

デイヴ なんで突然ヘッドホンをするんだよ…！

■-----デイヴが再開させる。

ゴールド 誰なんだ、この男は。

デイヴ ここ最近居候している、僕の友人です。

ジョン ジョンです。ジョン＝アフレックです。

ゴールド フン。

-----ジョンがデイヴィットのところに駆け寄る。ゴールドはヘッドホンをして、ラジカセから音楽を流し始める。

ジョン 誰なんだ、このおっかない男は！

デイヴ Mr.ゴールドマン、メアリーの父親だ…

ジョン メアリーの！？お父さん！？

デイヴ ああ

ジョン もちろんバーバラとのことは…

デイヴ 知らないよ！知ってるわけないだろ！もしバレてたら今頃僕はイギリス陸軍に命を狙われているよ…！

-----ゴールドはヘッドホンをはずして

ゴールド …デイヴィット君！

デイヴ はい！

ゴールド メアリーは今どこに

デイヴ 今呼んで参ります。

ゴールド いや、いい。

デイヴ ？

ゴールド メアリーがいないうちに君に話しておきたいことがある。

デイヴ はあ

ゴールド 君は先週の日曜日、ホランドパーク通りを歩いていなかったか？

デイヴ 先週の日曜日…？

ゴールド 私がそこを車で走っていたとき、偶然君のことを見かけてねえ。

デイヴ 声をかけて下さればよかったのに…

ゴールド かけようとしたが言葉を失ったよ…君が、黒い髪の女と抱き合っていたからな！

デ・ジ ！！

ゴールド どういうことなんだ。メアリーという妻がありながら、あの女は一体なんなんだ。

デイヴ いや、その…

ゴールド 貴様は娘を愚弄するつもりか！

-----銃を突きつけるゴールド。【SE「Thunder」】

ゴールド デイヴィット君！

デイヴ はい！

ゴールド いま俺が喋ったら雷出たけど何これ！？

■-----ビリーが止める。

デイヴ 君、自分が出た途端にずいぶん止めるねえ！

ゴールド 俺、雷出せないですよ？

デイヴ 知ってるよ！

ビリー 確かに、これはおかしいですよ。 「その場で起こってること」として説明のつかない効果ですよ？

デイヴ これは…たまたま鳴ったの！外で雷が！

ゴールド あ、偶然？

デイヴ そう！ゴールドマンが激怒したのと、偶然、時を同じくして部屋の外で雷が鳴った。これなら問題ない？

ゴールド 大丈夫です。

デイヴ じゃあもう行くよ？こんな些細なところで止めてたら終わんないんよ

■-----デイヴが再開させる。

ゴールド 貴様は娘を愚弄するつもりか！

-----銃を突きつけるゴールド。雷が鳴る。

ゴールド (雷に気付いて) ん？雨か。

デイヴ 違うんです！あれは浮気とか…そういうことじゃないんです！

ゴールド ではどういうことなんだ

デイヴ あの女は…彼なんです。

-----ジョンを指すデイヴ

ジョン ！？

ゴールド はあ？

デイヴ 実は彼には女装癖がありまして。あれは女装をしたジョンと僕と一緒に歩いていただけなんです。

ゴールド なんだ、あれはコイツだったのか！

デイヴ 彼は…実はコッチ(オカマみたいなジェスチャー)でして。男なら誰にでも抱き付くんですよ～。

ジョン そうなのお、あなたもステキねえ！

-----ゴールドマンに抱き付くジョン。

ゴールド こら！やめたまえ！

デイヴ 僕がメアリーのこと裏切るわけじゃないじゃないですか。

ゴールド メアリーは彼がその…オカマだってこと、知ってるのか。  
デイヴ 勿論ですよ、メアリーとジョンも友達ですし、3人で仲良くやってるんです  
ゴールド なるほどな。しかし、大英帝国の男児ともあろうものが…けしからん！  
ジョン オホホホホ…

■————バーバラが止める。

バーバラ 差別ですか。  
デイヴ またかー…！  
バーバラ これはセクシャルマイノリティを貶めることによる笑いですよ！同性愛はいけないことですか？性的少数者は「けしからん」ことなんですか？  
デイヴ いいんだよ！ゲイネタは実際にウケるんだし！  
バーバラ ウケればいいんですか！？  
ジョン ウケればいいんだよ  
デイヴ それに！これは、「ゲイとかオカマであること」で笑わせてるんじゃないんだよ、ジョンが、自分は全然そうじゃないのに「ゲイやオカマを演じなくてはいけない」という理不尽な「状況」が面白いんだよ  
バーバラ そもそも、ここでいう「オカマ」とは、女装趣味と、トランスジェンダーと、ゲイの、どれなんですか？これはそれぞれ全く別物です。  
デイヴ ゲイとオカマと女装癖の違いは…ゴールドマンという人物がわかってないだけなんだよ。で、「けしからん」ってのも、あくまでゴールドマンの見解なの。  
バーバラ …わかりました。それなら、セクシャルマイノリティを否定する発言のあとにその旨の注釈をつけて下さい。  
デイヴ 注釈！？  
バーバラ ええ「以上の発言は登場人物個人の見解でありセクシャルマイノリティの方々を貶める意図はありません」という旨の注釈をつける法案を提出します。  
デイヴ 何それ何それ  
バーバラ 議長、採決をお願いします  
ピリー 決の要請が出ました。以上の法案に賛成の方？  
————バーバラ、ピリー、チャン、メアリーが賛成。  
ピリー 賛成多数により、「ゲイネタには注釈をつける法案」は可決されました。  
デイヴ ええー…  
バーバラ 当然です。

■————バーバラが再開させる。

デイヴ 僕がメアリーのこと裏切るわけじゃないじゃないですか。  
ゴールド メアリーは彼がその…オカマだってこと、知ってるのか。  
デイヴ 勿論ですよ、メアリーとジョンも友達ですし、3人で仲良くやってるんです  
ゴールド なるほどな。しかし大英帝国の男児ともあろうものが…けしからん！（客席に向かって）以上の発言は登場人物個人の見解であり、セクシャルマイノリティの方々を貶める意図はありません！  
ジョン オホホホホ…  
————バーバラとチャンが帰ってくる。  
バーバラ ただいまー

デイヴ        バーバラ…！  
ゴールド      んん？  
デイヴ        ああ、バーバラ。メアリーの友達です  
バーバラ      はじめまして。  
デイヴ        そしてこちらはメアリーのお父さん、Mr.ゴールドマン  
バーバラ      メアリーさんにはお世話になっております。  
バーバラ      ジョンのおやつ買って来たわ  
デイヴ        ああ、ありがとう  
バーバラ      あと、もし良かった、これ。ジョンの首輪。  
ゴールド      首輪？  
バーバラ      やっぱ首輪はしておいた方がいいと思って。  
ゴールド      首輪をつけるのか！？ジョンに！？  
バーバラ      ええ、せめて外を散歩させるときくらいは  
ゴールド      首輪つけて外歩かせるのか！？  
デイヴ        そう…だね…万が一誰かを襲ったりしたら大変ですし…  
バーバラ      あと、やっぱりジョンに服は着せない方がいいと思うの。  
ゴールド      ！？何を言ってるんだ君は！  
バーバラ      ジョンに人間の常識をあてはめちゃ可哀想ですから  
ゴールド      だから裸に首輪で外歩くのか！それもう変態じゃないか！！（客席に向  
かかって）今の発言もまたセクシャルマイノリティの方々を「変態」と解釈し  
ているわけではありません。

-----メアリーが来る。

メアリー      パパ…！  
ゴールド      メアリー！  
メアリー      どうしたの？いきなり  
ゴールド      いや、ちょっとデイヴィット君に話があつてな…  
メアリー      話？

-----チャンが大荷物を持って帰ってくる。何故か上下ともに黒い衣装にかわって  
おり、大荷物も無対象で演じている。

チャン        おやつ買って来たよー  
デイヴ        えええ…！  
メアリー      あらすごい大荷も…

■-----メアリーが止める。

メアリー      なんですか、それ  
チャン        えっ？  
デイヴ        何その格好！！  
メアリー      私、それじゃ「大荷物」って言えないんですけど  
チャン        いや、違うんですよ。余計な色が無いシンプルな衣装にしたり、マイムで演  
じたほうが、お客さんは自分の思う中国人の服装や大荷物をイメージしてく  
れるんですよ。  
デイヴ        また出た、その理屈！  
ジョン        すいません、ラーメンズですか？

チャン はい？  
バーバラ その格好とか、明らかにラーメンズのそれでしょ  
デイヴ 君の言う「スマート」ってのはなんだ、結局のところラーメンズか！  
チャン ラー…メン…ズ…？  
ジョン いや、知ってるだろ！明らかに！  
チャン …何言ってるんだ、（誰もいない空間に）なあ？  
バーバラ うん、そこだ…！そういうところがラーメンズなんだ！  
チャン へええー…あるんだ、実際。  
バーバラ うん、だからそれだ！！  
メアリー すいません。ラーメンズ禁止法案だしてくれませんか？  
デイヴ 何だその法律！  
ビリー わかりましたでは…  
—————ビリーが決を採ろうとする。  
デイヴ いや、もう着替えちゃったのはしょうがないし、時間もないから！とりあえず荷物だけ持ってきて！  
チャン …はい  
■—————デイヴが再開させる。  
ゴールド いや、ちょっとデイヴィット君に話があつてな…  
メアリー 話？  
チャン おやつ買って来たよー  
メアリー すごい大荷物ね  
ゴールド また来た。今度は誰だ。  
チャン チャンっす。  
メアリー チャン…？  
デ・ジ ！！  
デイヴ チャンス！再びご紹介のチャンス！この人はバーバラの…  
メアリー ご主人！  
バ・チ ！？  
ジョン …ご執心！  
バ・チ ああ  
—————チャンが袋から犬用のおやつを出して  
チャン はい、これ、ジョンのおやつ。  
ジョン ありがとう！嬉しいわ～  
—————チャンにベタベタと抱き付くジョン。  
チャン なんだよ急に！  
ゴールド やめなさい！  
—————ゴールドがジョンを引きはがす。  
メアリー そうだ、じゃあ、お礼にジョンの芸を見せてあげたら？  
ゴールド ジョンの！？ゲイを見せる…！？  
メアリー ジョンってすごい芸達者なのよ。  
ゴールド ゲイ達者…！  
バーバラ どんなことができるの？「お手」とか？

メアリー そんなものじゃないわよ  
バーバラ 「ちんちん」とか？  
ゴールド ちんちん…！  
メアリー それどころじゃないわよ。見せてあげて。  
ゴールド それどころじゃないものを見せるのか！？  
バーバラ 見たいわあ…  
ゴールド コラ！  
メアリー デイヴィット、ちょっと付き合っただけで  
ゴールド 貴様ら！何をおっぱじめるつもりだ！！  
-----ゴールドがデイヴとジョンを強引に引き離す。  
デイヴ ダメですか…  
ゴールド ダメに決まってるだろ！  
メアリー ええ？…じゃあ私が手伝う！  
ゴールド お前まで何をやろうとしてるんだ！！…第一お前じゃゲイにならないだろ。  
メアリー 何言ってるのよパパ  
ゴールド とにかく！人前でそんな行為をするのは許さんからな！  
メアリー 人前っ…じゃあどこで芸すればいいのよ！  
ゴールド …なんと破廉恥な！！  
バーバラ いいわ、また今度にしましょ。みんな揃ったしもう一度お茶入れましょう！  
私も手伝うわ！  
メアリー そうね！  
-----メアリーとバーバラがキッチンに行く。  
ゴールド ったく、汚らしい…！（客席に向かって）これは登場人物個人の見解であり、セクシャルマイノリティのあぁめんどくさい以下略！  
チャン え、ジョンってのはメアリーさん夫婦が飼ってる犬…  
デ・ジ ！！  
デイヴ 犬畜生のような野郎なんですよ（客席に向かって）これは登場人物個人の見解であり、以下略！  
ゴールド 全くだ！  
ジョン オホホホ、そうなの～  
-----チャンに抱き付くジョン。  
チャン ！？なにするか、いきなり  
ジョン とっても良い男だったから。抱き付きたくなっちゃった。（客席に向かって）これは以下略！  
チャン こういふことはメアリーさんにしなさいよ  
デ・ジ ！！  
ゴールド ん？メアリーに？どういふことだ？  
デ・ジ ！！  
チャン だってこの人のお相手はメアリーさんじゃないですか  
ゴールド お相手ってどういう意味だ。  
チャン だから、今みたいにイチャつくっていか  
ゴールド イチャつく！？

チャン セックスっていうか  
ゴールド セックス!?  
デ・ジ !!  
ゴールド メアリーと!?こいつが!?そんなことしてるのか!?  
チャン そりゃあしてるでしょ、セックスぐらい。  
ゴールド ちょっと待て、メアリーは、デイヴィット君と、結婚しているんだぞ!?  
チャン …?はい。だからこそするでしょ  
ゴールド 爛れている…!あのメアリーがまさかそんな不貞を働くなんて…!なぜ貴様  
は止めなかったんだ!  
デイヴ なぜと言われても…  
ゴールド はっ!…まさか!「三人で仲良くやってる」とは…そういうことだったの  
か!?  
デイヴ えっ  
ゴールド 貴様らが外で抱き合っていたとか、貴様とメアリーが出来ているとか…つま  
りは三人でそういう関係だったということだな!  
デイヴ …そうなんです!  
ゴールド 爛れまくっている…!  
-----ゴールドマンが苦悩して頭を抱える。  
チャン ちょっと待った。今聞いていて気になることがあるんだけど。  
デイヴ え?  
チャン 三人で、ってどういうことだ?アンタもメアリーさんとデキてたっていうこ  
とか?  
デ・ジ !!  
-----ゴールドマンがヘッドホンをかける。  
チャン バーバラという人がありながら…!  
デイヴ いや、三人ってのは…こっちのデイヴィットさんと、メアリーと、犬のジョ  
ンのことだよ!  
ジョン そうだよ!正確には二人と一匹!  
チャン …そういうことか。  
-----ビリーが来る。  
ビリー …なんじゃ今は誰もセックスしておらんのか。  
デイヴ なんだ、じいさんか。  
ジョン 行った行った!  
ビリー (チャンに) さっきはすごかったぞ。この男がピンクの服の女を押し倒して  
おっぱじめておった  
チャン ピンクの服の女…?  
■-----ビリーが止める。  
ビリー やっぱりおかしいですよ?  
デイヴ なにが!  
ビリー 何なんですかこのビリーってやつは!おれはどういう動機なんですか!  
デイヴ 今さら言うか!

ビリー　　そもそもこいつは何しに来たんですか！何にも必然性がないじゃないですか！

デイヴ　　しょうがないだよ！そういうキャラなんだよ！

ビリー　　「真面目に演じれば演じるほど面白いコメディ」とか言いますがね「わしゃなんとかじゃ、ハッハッハッハッ」って、こんなキチガイ老人をどう真面目に演じればいいんですか！

デイヴ　　シチュエーションコメディにはそういうにぎやかしのキャラも必要なんだよ。

ビリー　　はい。僕は、ここで「ビリー禁止法案」を提出します。

チャン　　ビリー禁止法案！？

デイヴ　　何それ何それ！

ビリー　　はい、ビリーが「自然な感情」でも「真剣な言動」でもない行動をとった瞬間、ゴールドマンさんが即刻僕を射殺する、という法案です。

ジョン　　なんだそれ！

バーバラ　　いや、射殺とかは…

ビリー　　「ビリー禁止法案」に賛成の方…？

—————ビリーしか手を上げない。

ビリー　　あれ、僕を殺したい人はいませんか？

皆　　いやいやいや…

バーバラ　　怖い怖い怖い…

チャン　　むしろ今の方が狂ってるわ

ビリー　　…え、だって、思いませんか？こういうキャラに対して。「こいつ出てこなければいいのに」って

ゴールド　　すいません、俺ここジャミロクワイ聞いてるんで、いきなり撃ち殺せないっすわ

ビリー　　そこを何とか

チャン　　っていうか、このあとビリーが余計なこと言わないと、俺勘違いできないんで。

ゴールド　　俺も勘違いできないんで。

デイヴ　　じゃ、反対の方？

—————ビリー以外全員が反対する。

ビリー　　…！

デイヴ　　反対多数で「ビリー撃ち殺す法案」は否決されました。

ビリー　　俺を殺してくれ…！

デイヴ　　ってことで時間がないんで再開します！

■—————デイヴが再開させる。

デイヴ　　いや、三人ってのは…こっちのデイヴィットさんと、メアリーと、犬のジョンのことだよ！

ジョン　　そうだよ！正確には二人と一匹！

チャン　　…そういうことか。

—————ボケた老人を棒読みでやるビリー

ビリー　　…なんじゃ今は誰もセックスしておらんのか。

デイヴ　　なんだ、じいさんか。



ジョン 行った行った！  
ビリー (チャンに) さっきはすごかったぞ。この男がピンクの服の女を押し倒しておっぱじめておったぞ。  
デ・ジ !!  
チャン ピンクの服の女？  
デイヴ いや、これはちがうんだ…  
チャン あんた、やっぱりメアリーさんともヤッてたんだな…。  
デイヴ やってないやってない！  
ビリー ヤッてたぞー  
デイヴ あんた黙ってろ！  
チャン バーバラというヒトがありながら…  
デイヴ 違うんだって  
ビリー 違くないぞー  
デイヴ ジジイ、うるさい！  
チャン コロす。  
デイヴ ちょっと待ってくれ！誤解だって！  
ビリー 誤解じゃないぞー！  
----- ゴールドマンがヘッドホンを外し。  
ゴールド デイヴィット君、ここはやはりメアリーと別れてくれ！  
ビリー バーバラの夫は、メアリーともヤッてるぞー！  
ゴールド なにっ！今なんて言った！？  
ビリー バーバラの夫が、メアリーと、ヤッている  
ゴールド ヤッている…！  
ビリー セックスじゃ！  
ゴールド セックス…！  
ゴールド (チャンを指して↓と同時に) メアリーと…！  
チャン (デイヴを指して↑と同時に) メアリーと…！  
ゴールド (チャンを指して↓と同時に) この男が…！  
チャン (デイヴを指して↑と同時に) この男が…！  
ビリー そこのソファでおっぱじめておったぞ？  
チャン 貴様あ…！  
----- チャンがデイヴの胸倉掴む。  
ゴールド 貴様あ…！  
----- そのチャンを振り向かせてぶん殴る。倒れるチャン。  
チャン なんておれ…？  
ゴールド メアリー…この変態だけでは飽き足らず、こいつとも関係を持っていたなんて…  
ゴールド メアリーは穢れてしまった…！私の知っているメアリーはもういない…！  
----- メアリーとバーバラがキッチンから出てくる。  
メアリー 一体何の音？  
バーバラ どうしたの！？チャン！？  
チャン わけがわからない…

ゴールド　　メアリーを殺して私も死ぬ！  
—————メアリーに銃を向けるゴールドマン。  
メアリー　　ちょっと！パパ！？いきなりどうしたの！？  
ゴールド　　私の育て方が悪かったんだ…！二人で死んだ母さんにわびよう！  
メアリー　　何言ってるの！  
ジョン　　どうすんだよこれ…！  
デイヴ　　ああ…もう…！  
メアリー　　すまないメアリー、私もすぐに行くから…！  
デイヴ　　違うんです！全部本当のことを言います！  
皆　　？  
デイヴ　　メアリーはチャンと出来てなんかいません！  
ゴールド　　…なにっ？  
メアリー　　チャンって誰？  
デイヴ　　それにメアリーはジョンとも出来てなんかいません！  
ゴールド　　なにっ！？  
バーバラ　　ジョンって犬でしょ？  
デイヴ　　ついでにジョンは、犬でも、女装趣味でも、オカマでも、変態でもありません  
メアリー　　あなたそんなことになってたの？  
バーバラ　　ちょっと待って、ジョンってのが犬じゃなかったら何なの？  
デイヴ　　彼だ。  
バーバラ　　…デイヴィット？  
デイヴ　　彼はデイヴィットではありません。  
バーバラ　　えっ？  
メアリー　　そうよ、デイヴィットは彼でしょ？  
デイヴ　　彼もデイヴィットではありません  
メアリー　　えっ？  
バーバラ　　チャンよ！  
メアリー　　えっ？じゃあバーバラのご主人は？  
デイヴ　　僕だ。  
メアリー　　えっ！？  
バーバラ　　じゃあメアリーのご主人は？  
デイヴ　　僕だ。  
バーバラ　　えっ！？  
デイヴ　　僕が…メアリーとバーバラ、二人と結婚していたんだ。  
チャン　　ヤッベ…  
デイヴ　　悪いのは全部僕なんです！本当にごめんなさい！  
メアリー　　…。  
バーバラ　　…。  
デイヴ　　でも、これだけは信じてほしい。僕は両方とも愛しているんだ…！出来ることなら、二人を幸せにしたい…。  
メ・バ　　デイヴィット…。

ゴールド そういうことか…。やはり貴様がメアリーを裏切っていたということだな…！

—————デイヴに銃を向けるゴールドマン。

ゴールド この落とし前、どうつけるつもりだ？デイヴィット＝スミス…！

—————デイヴィットの前に立ちはだかるメアリーとバーバラ。

デイヴ メアリー…バーバラ…

メアリー やめてちょうだい、パパ。私達の夫を撃たないで。

バーバラ 私達二人とも、未亡人になっちゃうわ。

ゴールド しかし…そいつはお前も、この女性も、裏切っていたんだぞ？悔しくないのか！

メアリー そんなこと、とっくの前に解決済みよ。ねえ？

バーバラ ええ。

デイヴ …え？

ゴールド まさか…お前…

メアリー もちろん知ってたわ。もう一人奥さんがいることなんて。

バーバラ 旦那がこんな二重生活してて気づかないわけないでしょう？

デイヴ …そうだったの！？

メアリー 最初は悔しいとも思ったわ。でも、必死でスケジュールをやりくりしているデイヴィットを見たら…ねえ？

バーバラ ええ。なんだかいじらしく見えてきちゃったの。

デイヴ メアリー…バーバラ…

■—————ジョンが止める。

ジョン え、これ、コメディですよ？

デイヴ ええ？これもう終わるところだったじゃん！

ジョン 今、何分か、全然笑いがなかったっすけど…

デイヴ それはだって…そういう「お話」みたいなものないとか、

ジョン コメディなら、笑えないシーンが長いのはダメでしょ

デイヴ いいんだよ、コメディとお笑いは違うんだから。笑わせとけばいい、てのとは違うの！

ジョン ダメです、コメディなら…コメディなら笑えなきゃダメなんです！…だって、コメディって、みんなを笑わせるためのものでしょ？

一同 …。

ジョン 僕はシリアスなシーンにも笑える要素を入れるべきだと思います。議長、採決をお願いします。

デイヴ では、以上の法案に賛成の方…？

—————ジョン、チャン、ゴールド、バーバラが挙手。

デイヴ 六票。賛成多数で可決されました。…じゃあもういいけど、その「笑える要素を入れる」ってのは具体的に何をやるの？

ジョン そっすね、まあ本筋のお話を変えちゃうのもアレなんで、

デイヴ うん

ジョン 台詞はそのまま、全員のあごをしゃくれさせてみましょう。

デイヴ え、待って待って！？

チャン あんだけ良い感じのこと言ってる、「顔」すか!?

ジョン でも面白くない?

デイヴ (ジョン以外の賛成者に) 君らはこんなのに賛成したんだぞ?

ジョン とりあえず一回やってみましょ?

■—————ジョンが再開させる。

デイヴ メアリー…バーバラ…

ジョン え、でも…知ってたんなら、なんで今まで…

メアリー ごめんなさい、デイヴィット。ちょっとからかってみたの。

バーバラ さっき二人でお茶を淹れながら、大笑いしちゃったわ。怒らないでね?

■—————デイヴが笛を吹く。

デイヴ ダメだ! 話全然入ってこない…!

ジョン そうですか? 面白いと思うんですけどねえ

デイヴ ということでしゃくれは無しで先に行きます!

ジョン じゃあわかりました! 僕だけしゃくれます!

デイヴ 好きにしろ!

■—————デイヴが再開させる。

バーバラ さっき二人でお茶を淹れながら、大笑いしちゃったわ。怒らないでね?

デイヴ そんな…僕が怒るだなんて…

ビリー ってことは今度は三人でやってくれるんかの?

ジョン うるさいんだよ、ジジイ!

—————ジョンがビリーを蹴飛ばす。

メアリー ということなのパパ。

—————【SE「Fake Sweet」】

バーバラ 家族の形なんて、幸せならばなんだっていい。私達はそう思います。

メアリー こんな不思議な形だけど、私はいま幸せよ?

ゴールド デイヴィット君…この曲はどっから流れてるんですか…!

■—————ゴールドが止める。

デイヴ もういいだろそんなこと!

ゴールド でも雷が偶然なった音なら、これもどっかから流れてないとおかしいんですよ!

デイヴ めんどくせえなあ! じゃあいいよ! ここでは流さないよ!

メアリー 待ってください…! この曲は流してください!

デイヴ はああ!?

メアリー この曲に合わせて感情作っちゃったんですよ…!

デイヴ 知らねえよ! お前の感情は!

メアリー 曲が無いんなら…ちょっと時間下さい。

デイヴ ないんだよ! そんな時間は!

メアリー でも…! この曲が無いとあのセリフは言えないんですよ!

ゴールド くっそ…! なにか曲が流れる必然性のあるものはないのか!?

—————皆が「曲?」「曲が流れる…?」と探す中、デイヴがラジカセを翳して

デイヴ …これだ!

皆 ああ!

皆 それだ！  
ゴールド それでいこう！  
デイヴ よし！  
—————デイヴが皆を見回して  
デイヴ …誰がながすんだ！  
ゴールド おれは銃突きつけて無理なんで、お願いします  
デイヴ 僕だって銃突きつけられてるんだから無理だよ！  
ジョン (アゴをしゃくれさせて) 元気があれば何でもできる。  
デイヴ じゃああんた！そんなに流したいんなら自分で操作しろ！  
メアリー 無理ですよ！メアリーにはこのシーンでウォークマンを操作する動機はありません！  
デイヴ 誰にだってねえよ！  
バーバラ 誰か、この中にウォークマンを流せる人はいませんかー！？  
ゴールド 助けて下さーい！  
チャン まともな登場人物がこんなところでウォークマンを流せるわけがない！  
ゴールド 助けて下さーい！  
デイヴ まともな登場人物なら…？  
皆 …！！  
デイヴ (ビリーを指して) こいつだーっ！！  
皆 あーっ！  
ビリー 俺ですか？  
デイヴ ああ！こんな動機のない行動に辻褄を合わせられるのは、そもそも動機のないキチガイ老人しかいない！  
ビリー …わかりました！わしゃウォークマンを聞くぞ！  
皆 よし！  
ビリー 曲が流れる直前、わしがジョンに蹴飛ばされる！そしてその流れでヘッドホンを引っこ抜く！  
ゴールド それだ！  
デイヴ それでいこう！  
ビリー 誰かウォークマンを押さえておくのじゃ！  
バーバラ 任せて！  
デイヴ よし！もっかい行くぞ！  
■—————デイヴが再開させる。  
デイヴ メアリー…バーバラ…  
—————ビリーがウォークマンを珍しそうにさわり、聴きはじめる。  
ジョン でも…知ってたんなら、なんで今まで…  
メアリー ごめんなさい、デイヴィット。ちょっとからかってみたの。  
—————ビリーが曲を聴いたまま、ウォークマン本体を机の上に置く  
バーバラ さっき二人でお茶を淹れながら、大笑いしちゃったわ。怒らないでね？  
—————バーバラが置いてあるウォークマンに肘をついて抑える。  
デイヴ そんな…僕が怒るだなんて…  
ビリー ってことは今度は三人でやってくれるんかの？

ジョン うるさいんだよ、ジジイ！  
-----ジョンがビリーを移動させる。ヘッドホンが抜ける。ウォークマンから曲が流れ始める。【SE「Fake Sweet」】皆、芝居を続けながらガッツポーズ。  
一同 よし！  
メアリー ということなのパパ。  
バーバラ 家族の形なんて、幸せならばなんだっていい。私達はそう思います。  
メアリー こんな不思議な形だけど、私はいま幸せよ？  
ゴールド …ふん！私には理解できん…  
-----銃を引くゴールドマン。  
デイヴ Mr. ゴールドマン、黙っていて、本当にすみませんでした。  
ゴールド 違うだろ。…「お義父さん」だろ？  
デイヴ …！  
メアリー パパ…！  
デイヴ ええ！両方とも幸せにします！お義父さん！  
ゴールド 全く私には理解できん…愛する妻が二人もいるなんてな  
-----ゴールドマン、帰る。ウォークマンを止める。  
バーバラ それじゃ、テニスを始めましょう？ところで、どのペアになるのかしら？私とデイヴィット？それともあなたとデイヴィット？  
メアリー いーえ。私とジョン、あなたとチャンじゃない？だって、こことここが夫婦なんでしょ？  
バーバラ じゃあデイヴィット、あなたは玉拾いよろしくね。  
デイヴ …はい、喜んで。  
メアリー じゃあ行きましょ、ジョン。  
ジョン いくぞー！  
チャン (ジョンに) 負ける気はないよ。  
-----バーバラとチャンが庭にはける。  
ビリー ところで、次はいつおっぱじめるんかの？  
デイヴ じいさんも、早く帰った帰った！  
ビリー つまらんのう！  
-----ビリーを外に追い出すデイヴ。一人でテーブルを片付けながら  
デイヴ ふう。まさか二人がお互いのことを知ってたなんて…これからはもっと気を付けないと。  
-----一人残ったデイヴィット。食器を片付けているとチャイムが鳴る  
デイヴ ったく、しつこいじさんだ…！はーい！  
-----デイヴが玄関ドアを開けて外に文句を言いに出る。【SE「Catherrine02」】  
??? デイヴィット、来ちゃった♪  
デイヴ ！？…キャサリン！  
-----ドアの外を見て絶句しているデイヴ。【BGM「カルメン終」】  
-----曲に合わせて緞帳がおりてくる。その中で、メアリーとバーバラが部屋に戻ってくる。慌ててキャサリンのいるドアを隠すデイヴ。メアリーとバーバラがデイヴに詰め寄る。  
■-----緞帳が降りきった中でホイッスル。ビリーとゴールドマンが曲を止める。

ピリー この曲もですよ！  
ゴールド どっから流れてるんですか！  
デイヴ こまけえなー！

-----暗転。【BGM「カルメン再び】

おわり

【登場人物】



【本文】